

いもち病／紋枯病
 ごま葉枯病／穂枯れ(ごま葉枯病菌)
 変色米(カーブラリア菌)
 カメムシ類／ツマグロヨコバイ
 ウンカ類
 コブノメイガの基幹防除剤

ノンブラスはフェリムゾンにトリシクラゾール(ビーム)を
 組み合わせた水稻病害防除剤です。

NONBLAS

ノンブラス®トレバリタ[®]粉剤DL

農林水産省登録
 第18177号

フェリムゾン……2.0% トリシクラゾール……0.5% バリダマイシンA……0.3% エトフェンブロックス……0.5%

出穂後の仕上げ防除剤として、高品質米の生産をお手伝いします。

本剤の特長

ノンブラスの特長

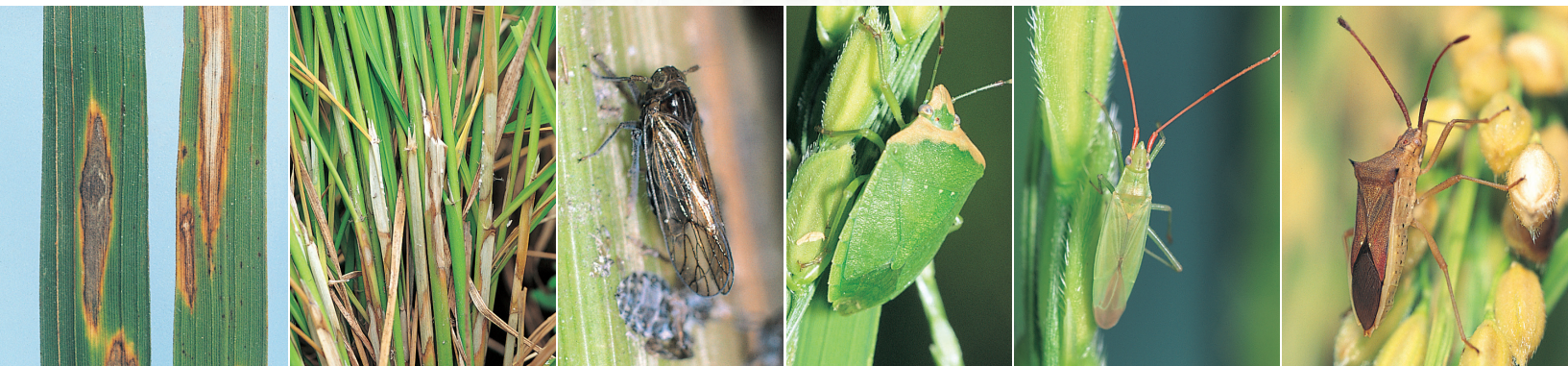
- いもち病に対し、鋭い治療効果と優れた予防効果を持ち、散布適期幅が広い薬剤です。
- 浸透移行性・耐雨性に優れており、雨の合間の散布でも効果を発揮します。
- 長期にわたって、いもち病の二次感染阻止効果を発揮します。
- ごま葉枯病・穂枯れ・変色米にも優れた効果を示します。

バリダシンの特長

- 紋枯病に優れた効果を発揮します。

トレボンの特長

- ツマグロヨコバイ・ウンカ類・コブノメイガ・カメムシ類に速効的に作用し、優れた防除効果を発揮します。



いもち病

紋枯病

トビイロウンカ

ミナミアオカメムシ

アカヒゲホソミドリカスミカメ

ホソハリカメムシ

美しい穂の仕上げをお手伝いします。

NONBLAS

ノンブラストレバリタ[®] 粉剤 DL

人畜毒性：普通物*

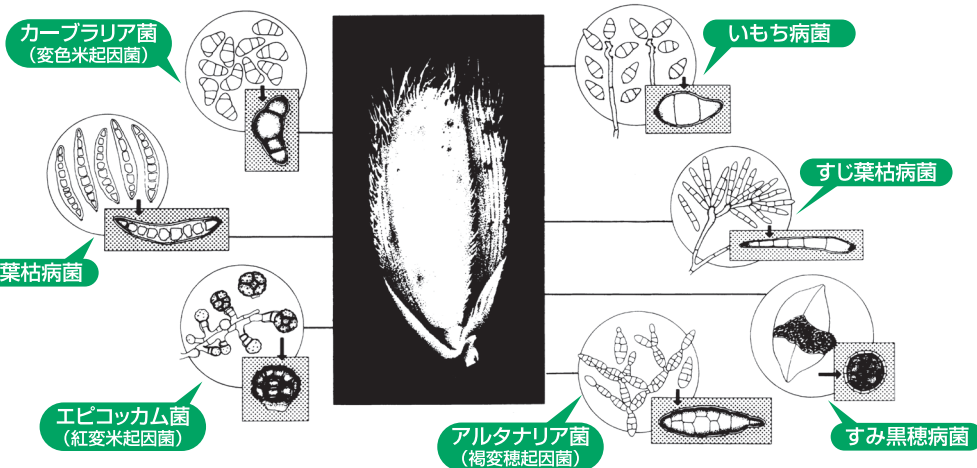
*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

■適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
稲	いもち病、紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブラリア菌) ツマグロヨコバイ ウンカ類 コブノメイガ	3~4kg /10a	収穫 14日前 まで	本 剤：2回以内 エトフェンブロックス：3回以内 トリシクラゾール：4回以内 (育苗箱への処理は1回、本田は3回以内) バリダマイシン：6回以内 (育苗箱灌注は1回、本田は5回以内) フェリムゾン：2回以内	散布
	カメムシ類	4kg /10a			

【参考】田植から収穫までに、いろいろな病原菌が稲の生育や米の品質に影響を与えています。

有効成分フェリムゾンは、いもち病・ごま葉枯病をはじめ米の品質を低下させる穂枯れ性病害も作用して美しい穂の仕上げをお手伝いします。



⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一旦盛程度しほって散布してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
 - ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 野菜類の幼苗およびなし(二十世紀、幸水、新水等)には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- たばこ、けいとうおよび幼植物のだいず・あすき・いんげんまめには薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- きく(秀芳の力等)には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかか

- らないようにしてください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用はさけてください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいなどをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

この印刷物の記載内容は2018年9月現在のものです。